

# やさしい買い物で、未来を照らそう。

## 未来を変える買い物

普段の生活に欠かせない買い物。お店には毎日たくさんの商品が並び、私たちは好みのものを選んで買うことができます。そんな日常の買い物で世界の未来を変えるきっかけとなることをご存じでしょうか。

## 人や環境に優しい商品

棚に並んだたくさんのお品。それらは、どんな人の手を経てきたのでしょうか。食品であれば、原材料を生産する農家や加工工場で働く人、トラックで店舗まで運ぶ運転手など、私たちの手元に届くまでにたくさんの人が関わっています。生産や輸送といった商品の背景に目を向けて、人・社会・環境などに優しいものを選ぶことを「エシカル消費（＝倫理的消費）」といえます。一人ひとりがエシカル消費を意識することで、その商品やサービスに関わる人の労働環境改善や地域活性化、環境保全などにつながります。

## 12月3～9日は障がい者週間

エシカル消費は生産者を応援することにもつながります。そ

### TOPIC

## 障がいのある人がいきいきと働く事業所

働くときに、何らかの配慮が必要な障がいのある人が利用する事業所では、就労や生産活動を通じて自立を支援しており、売り上げの一部は工賃として利用者に還元されます。

の一つとして挙げられるのは、障がい者が生産した商品を買うこと。自立支援の一環として生産された食品や雑貨などを購入することで、障がいのある人の応援につながります。町内では、主に2つの事業所で食品や生花を販売しています。それぞれの事業所では地産地消や品質管理に取り組み、丁寧なものづくりを行っています。作る人も買う人もうれしいエシカル消費。今月号では、12月3～9日の障がい者週間に合わせ、障がいのある人が生産する製品のこだわりを迫ります。

### なぜ、今？

## エシカル消費の必要性

地球温暖化や環境問題などといった、世界が直面する課題。それは私たちの生活にも無関係ではありません。事態の悪化を防ぐためには、今、一人ひとりの意識を変えていく必要があります。

## 資源の枯渇が招く価格の上昇



温暖化や資源の枯渇が商品の価格上昇につながることも。環境への配慮が家計を守ります。

## 地球に悪影響をおよぼす家庭のCO2



二酸化炭素排出量のうち 15.8% (※) は家庭からの排出。省エネは地球を救うことにもつながります。  
※ 2016年度

## 捨てる時を考えた商品選び



商品やサービスを選ぶ際に、廃棄する時のことを考えると、環境にやさしい消費につながります。

## 食品ロス排出の半分は家計から



食品ロスの半分近くは家計からの排出。家にある食品をしっかり食べることが大切です。

## 賞味期限前でも廃棄 過度な新鮮思考



棚の手前から商品を購入することで、賞味期限前に捨てられる食品を減らすことができます。

【参考】消費者庁ホームページ：「倫理的消費」調査研究会取りまとめ～あなたの消費が世界の未来を変える～・みんなの未来にエシカル消費



みんなに優しい未来へ

特集

# エシカルミヨシ

お店に並ぶ商品から、どのように買うものを選んでいきますか？ 普段の買い物で、地球温暖化などといった世界の問題の改善に取り組むことができる考え方、「エシカル消費」を紹介します。

【写真】むさしの作業所で花を育てる利用者。一つひとつ花の状態を確認して手入れをしています。